

お知らせ

つばめ福祉会

1. 法人制度改革が行われます。

社会福祉法人の制度が改革されました。統治機構を充実し、評議員、理事の責任・権限・義務が明確になり、運営をより透明性を持った形にするものです。これにより運営が安定し福祉サービスの提供がより充実することを望みます。28年度に準備をして29年度(4月)から実施されます。

2. 基幹相談支援センターが発足します。

全障害一元化した相談支援窓口やアウトリーチなどにより総合的支援実施を目的として発足します。市内で14ヶ所設置される予定ですが、つばめ福祉会では「西区姪の浜4-22-31-30号」において、5名体制で発足します。皆さまのご利用をお待ちしております。

3. ふくおか家族連絡会による「家族の集い」が開催されました。

精神保健福祉ふくおか家族連絡会は、「家族の集い」を3月19日(日)ふくふくプラザにおいて13:00より開催しました。内容は、「家族と当事者の地域生活」が主題でした。長崎ウエスレヤン大学教授であり、当法人の評議員でもある廣田悦子先生の講演の後、当事者や家族の方々によるシンポジウムが行われ、情報や意見交換の中で、有意義な時間を過ごすことができました。

4月1日、西鉄バス運賃割引ついに実現!

長年に渡り街頭に出での署名活動に加え、多くの当事者の皆さんの割引に対する思いのこもった署名が実を結びました! 皆さんと一緒に喜びたいと思います。(これで雨の日の受診はバスに乗れそうですね。)



行事予定

- ◆バスハイク…今年は6月の予定です。まだ詳細は決まっておりませんが、決まり次第お知らせいたします。
- ◆つばめ祭り…秋に開催予定です。今年も張りきっていきますので、ぜひご来場ください!



《編集後記》

編集を進めるうちに日増しに暖くなり、春めいて参りました。機関紙の編集など初めてで、「どうしょ〜!」と不安いっぱいでしたが、進めるうちに苦手なWORDも扱えるようになり、だんだんと楽しくなってきました。「習うより慣れろ」とは本当ですね。今回のSWALLOWでは改めて『つばめ福祉会』のことを皆さんに知って頂きたいという思いから、各施設の仕事や活動内容の紹介をさせて頂きました。分かりやすい内容になっておりましたら幸いです。新年度、私も初心にかえり、気を引き締めて業務に励んで参りたいと思います。最後になりましたが、ご協力頂いた皆様ありがとうございました。今年度もどうぞよろしくお願い致します。(ぶらっと 奥)

編集：つばめ福祉会 編集委員会責任者 西村和徳 〒814-0021 福岡市早良区荒江 2-8-6
 発行：九州障害者定期刊行物協会 〒812-0054 福岡市中央区天神 1-16-1 毎日福岡会館 7F
 TEL：092-753-9722 FAX：092-753-9723 購読料：1部100円(会費を含む)

QSK つばめ通信

2017年春



＜社会福祉法人つばめ福祉会＞

●法人本部	〒814-0021 福岡市早良区荒江 2-8-6	TEL092-400-7110
●ぶらっと(地域活動支援センターI型)	〒814-0021 福岡市早良区荒江 2-8-6	TEL092-400-7132
●西区第1障がい者基幹相談支援センター	〒819-0002 福岡市西区姪の浜4-22-31-30号	TEL092-885-5060
●つばめ工房 原作業所(就労継続支援事業B型)	〒814-0022 福岡市早良区原 3-18-15	TEL092-821-4055
●ピアつばめ(就労継続支援事業B型)	〒814-0021 福岡市早良区荒江 2-18-25	TEL092-407-9641
●喫茶レストラン・オアシス(就労継続支援事業B型)	〒814-0073 福岡市中央区舞鶴 2-5-1 あいれふビル 1F	TEL092-713-3484

29年新年度を迎えて

社会福祉法人つばめ福祉会 理事長 西村和徳

平成29年度を迎え新たな気持ちで、歩みを始めたいと思っています。前年から本年にかけて、わたしたちの周囲ではいろいろな出来事がありました。主な点としては、社会福祉法人の制度改革、基幹相談支援センターの発足、西鉄バス・電車の半額制度実現、などがあります。又心配な面では、「津久井やまゆり園事件」や、最近では福祉提供が不適正という理由で、当局より厳しい指摘を受けた事業例の報道等がありました。良い動きや制度は、積極的に受け止めて仲間たちの生活向上に取り入れ、良くない事例においては、その事例の本質的課題に思いをいたして、再びその様な事が起こらないための改革や、制度充実が必要と思われるます。

さて、本年度の法人運営で特に留意したいことは、基幹相談支援センターが発足することです。この事業は、全障がい一元化、児・者一貫した相談支援窓口や積極的な地域へのアウトリーチなどにより総合的な支援を実施しようとするものです。市内14ヶ所ですが、当法人では「西区姪の浜4-22-30号」において発足する予定です。現在5名体制で4月1日発足に向けて鋭意準備を進めています。この機関紙を皆様にお届けするころには、業務を開始していることになると思われます。

本事業は、初めての取り組みでもあり、細心の注意を注ぎながら、持てる能力を結集して、熱意をもってあたる所存であります。地域の方々や行政の方々、医療、福祉事業者や団体との連携を、大切にしながら進める事が肝要と思っています。

スタッフ一同、蓄積してきたキャリアとノウハウを十分発揮して、当事業の目的に沿って、仲間たち一人一人が、安心と希望を見出すことが出来るように努力いたします。

どうか皆様、ご理解とご協力を賜りますよう、切にお願い申し上げます。